

# ぼうはん栃木

発行  
(公社)栃木県防犯協会  
栃木県風俗環境浄化協会  
宇都宮市昭和3-2-8  
電話 028(666)7700  
FAX 028(666)7738



**SNS型投資・ロマンス詐欺にご注意**

～ 被害金額は約7億円 ～



「防犯マスコット」  
©SUSUMU MATSUSHITA ENTERPRISE



風俗環境浄化協会  
シンボルマーク

No.207号

みんなで つくろう 安心の街

# SNS型投資詐欺

## にご注意!

### 一 SNS型投資・ロマンス詐欺の認知状況

令和五年中に栃木県内で認知したSNS型投資・ロマンス詐欺の件数は四六件です。

昨年の特種詐欺事件の認知件数が一七件ですので、件数的には少なく見えますが、被害金額は約七億円に達し、特殊詐欺事件の約五億円を大きく上回っています。

栃木県を含め、令和五年下半期から全国的に増加しており、今年に入ってから増加傾向が続いていますので、十分な注意が必要です。

### 二 SNS型投資・ロマンス詐欺とは

SNS型投資・ロマンス詐欺とは、SNS等を通じて対面することなく、交信を重ねるなどして関係を深めて信用させ、

◎投資金名目やその利益の出金手数料名目などで金銭等をだまし取る(SNS型投資詐欺)

◎恋愛感情や親近感を抱かせて金銭等をだまし取る(SNS型ロマンス詐欺)

詐欺をいいます。

### 三 犯罪の特徴について

この種の犯罪では、

● SNSを通じて犯人と知り合うこと

● SNSのみで交信を重ねること

● 振込先口座が個人名義の口座であること

● 振込先口座が毎回異なることが共通した特徴として挙げられます。

その上で、

● 「SNS型投資詐欺」では、著名人や投資家等を名乗る者から投資について指南を受ける

● 「SNS型ロマンス詐欺」では、外国人を装ったり、共通の趣味の話などから、恋愛感情や親近感を抱かせる

といった特徴があります。

### 四 被害に遭わないために

投資詐欺では、SNS上のバナー等広告を端緒として、ロマンス詐欺ではSNSのダイレクトメッセージ等を端緒として、それぞれ嘘の話を信用し、最終的にはLINEでのやりとりに誘導され、被害に遭う人が大多数です。

SNSは大変便利なツールですが、不特定多数の人が利用できるものであり、犯罪に悪用されることがあるので十分注意してください。

投資への助言や代理業を行うには、法律に基づく登録が必要ですし、著名人が投資の指南をすることはありません。

ニュース等では、高額被害が目立ちますが、被害は数万円の投資から始まる場合もありますので、他人事だと思わないでください。

SNS上だけの情報を鵜呑みせず、視野を広くお持ちいただくとともに、少しでも不審な点があれば、家族や警察、信頼できる友人等に速やかに相談してください。



### 令和六年度 栃木県防犯連絡協議会 連合会定例理事会の開催

栃木県防犯連絡協議会連合会は、去る六月七日(金)、栃木県警察本部において、令和六年度定例理事会を開催しました。

理事会では、警察本部佐藤生活安全部長のあいさつに続き、役員改選が審議され、川口副会長が会長に、後任には、會澤正巳氏が副会長にそれぞれ選出されました。

その後、警察本部生活安全企画課から「県内の治安情勢と地域安全活動の推進状況について」の説明がありました。

また、「今後の防犯連絡所の運営に関する課題について」討議が行われ、活発な意見交換が行われました。



なお、理事会で決定された今年度の役員は、次のとおりです。

#### 【役員】

- 会長 川口 廣俊(栃木)
- 副会長 會澤 正巳(宇都宮東)
- (再任) 鈴木 義恵(真岡)
- (再任) 越沼 稔(大田原)

「青少年の非行・被害防止全国強調月間」

七月一日(月)～七月三十一日(水)

令和五年における県内の非行少年の検挙・補導人員は二九八人で、前年比プラス八九人と大幅に増加し、その中にはSNSを通じて実行犯募集に応募した少年が特殊詐欺や強盗等の重大な犯罪に加担する事案があったほか、大麻乱用少年の増加も見られました。

一方、少年の被害については、SNSに起因して誘拐や児童買春、児童ポルノ等の被害に遭う児童の数が高い水準で推移しており、児童虐待も令和五年の県内の認知件数は五二七件で、前年比プラス六七件と大幅に増加しました。

そのため、少年を非行と被害の両面からいかに守っていくかが課題となっております。

県警察では、こうした情勢を踏まえ、地域等と連携しながら各種取組を推進しています。主要な取組は次のとおりです。

① 広報啓発活動

少年の非行・被害防止の重要性を広く県民に周知し理解を促すため、様々な機会を通じて情報を発信しています。

② 有害環境浄化活動

事業者に対し、二〇歳未満の者への酒・たばこの販売防止や、深夜営業施設への少年の立入制限等を要請するなど、少年を取り巻く有

害環境を浄化するための活動を推進しています。

また、インターネット上の違法情報・有害情報から少年を守るため、スマートフォンを中心としたフィルタリングの普及にも取り組んでいます。

③ 街頭補導活動

県・市町、学校、少年指導委員等と連携しながら、飲酒や喫煙、深夜はいかい等の不良行為を行っている少年の早期発見・補導、少年の福祉を害する犯罪の被害に遭っている又は遭うおそれのある少年の発見・保護に当たっています。

④ 非行少年の立ち直り支援活動

非行を繰り返すおそれのある少年に対しては、農業体験等の社会参加を通じて地域社会との絆の構築を促すなど、立ち直り支援を行っています。

⑤ 少年相談活動

少年、保護者等の悩みや困りごとに対応するため、学校等に出張して相談を受け付ける「あしたルーム」や電話相談コーナー「ヤングテレフォン」を開設するなどして指導・助言を行っています。

七月は「青少年の非行・被害防止全国強調月間」です。より一層取組を強化してまいりますので、協力をお願いします。

水難事故・山岳事故防止に対する心構え

● 水難事故の防止

令和五年中、県内では一〇件一〇名の水難事故が発生し、うち六名が亡くなりました。

夏の時期は、川や海で魚釣りや水遊びをするなど水に親しむ機会が増えるため、特に注意が必要です。水の事故を防ぐため、次のことを守りましょう。

● 事前に現地の天候や川の水量などを確認するとともに、体調が優れないときは水に入るのを控えましょう。

● 魚釣りや水遊びをする際は、ライフジャケットやウエットスーツを必ず着用しましょう。

● 子どもには必ず保護者が同伴し、決して目を離さないようにしましょう。

また「遊泳禁止」の看板が設置された場所では、絶対に水遊びや水泳をさせないでください。

● 飲酒した状態で川や海に入るのは絶対にやめましょう。

● 川の上流で大雨が降ると、雨の降っていない下流でも急に増水することがあるので、上流の空が暗くなったり川が濁り始めたりしたら、すぐに岸に上がりましょう。

● 山岳遭難の防止

令和五年中、県内では七二件八二名の山岳遭難が発生し、一〇名

が亡くなり、三五名が負傷しました。

七月から八月の夏山シーズンには、一三件一四名の山岳遭難が発生し、原因は転倒、滑落、道迷いのほか、熱中症などでした。山の事故を防ぐため、次のことを守りましょう。

● 登山する山の特徴や登山ルートを事前によく調べ、自身の経験・技術・体力に見合った山を選び、日暮れ前に下山できるよう無理のない日程を組みましょう。

● 登山計画を警察や山岳会などに提出するとともに、家族にも登山の予定日時やコースを知らせておきましょう。

● 入山前には麓の天気だけではなく山頂付近の天気も確認し、悪天候の場合や体調不良時は、山に入るのを控えましょう。

● 日帰り登山でも携帯電話などの通信手段をはじめ、登山地図、雨具、保温着、非常食、水、ヘッドライト、エマージェンシーシートなどの装備を必ず携行しましょう。

また、熊との遭遇を避けるため、熊鈴も携行しましょう。

● 万一、遭難してしまった場合は、できるだけ早く一〇番通報をして救助を求めてください。携帯電話がつかない場所を見つけたら、その場から動かずに救助を待ちましょう。

矢板地区防犯協会

地区防だより



矢板地区防犯協会では、令和六年四月二六日、JR矢板駅において、自転車の盗難被害防止等についての広報活動を行いました。ワイヤー鍵等の啓発グッズを配布しながら、自転車の盗難被害を防ぐため、自転車の二重ロックを呼び掛けました。今後、各種防犯活動を通じて、安全安心なまちづくりに努めてまいります。

那須烏山市防犯協会

那須烏山市防犯協会では、令和五年一〇月一日に「全国地域安全運動」の周知広報活動として、市内の大型スーパー店頭において、全国地域安全運動実施及び特殊詐欺等の被害防止のチラシ等を配布し広報活動を実施しました。



また、防犯協会と市、警察のイメージキャラクターである「やまどん」と「ルリちゃん」が協力して広報活動を行い、市民の方に対して声かけ及びチラシ等の配布を行いました。

園児から花束のプレゼント

六月五日(水)宇都宮市内のさくらんぼ幼稚園(園児…三三名、引率の先生…二名)が協会を訪れ、職員に花束のプレゼントを行いました。これは「子どもたちが花のように美しい心ですすこやかに育ちますように」との願いを込めて、幼稚園が毎年「花の日」の時期に、日頃お世話になっている方に花束を贈って感謝の意を表そうという趣旨から行われているもので、園児から綺麗に咲き揃った花束のプレゼントを受け取った当協会は、幼児誘拐防止係の樋口指導員を先頭に同僚の女性職員が心を込めて手作りしたメダル(折り紙で作成)や防犯指導用グッズを園児全員に手渡しました。



さくらんぼ幼稚園のみなさまありがとうございました。

連載マンガ  
ふしぎの「フーちゃん」  
作 神山 幹

泥棒が嫌がる要素

泥棒さんは大きな音が苦手なだけで、聞いたけど、本当なの？

ええ、有効よ

泥棒が嫌がる要素は主に四つあるの

まずは「目」。当然だけど人目につけて犯行が見えなくなる状況では行動できません

次に「音」。大きな警音はかなりの効果的だに伏えられて犯行を諦めた泥棒もいます

最後に「時間」。侵入までに五分以上かかるだけで大半の泥棒はようです

そして「光」。照らされて姿や顔を認識される嫌がります

もし犯行中に「出くわしてしまわなかったら、捕まらないうちに攻撃してくる可能性が高く非常に危険です！」

これを防ぐためにも上記の四要素で「侵入を諦めさせる」ことが大切です

